

塾生の声

- 予想以上に充実した研修でした。集まらないことはデメリットだけではなく、馴染み深い自分の職場や自宅で受けられることがメリットでした。
- 地域差がなく、全国どこからも参加できることが大変良かったと思います。実は私は初めてオンライン研修でした。その意味でも大変勉強になりました。また、オンデマンド配信していただいたので、何度も講義を聴ける点も良かったと思います。
- 遠方から来る方は大変かと思いますが、直接受講することで得られるものは大きいと思いますので、直接講義に賛成です。
ただ、オンラインにもメリットがありますので、直接講義を基本として、オンラインの枠があると参加のハードルは下がると思います。
- 直接受講して質疑応答、意見交換等ができれば、理解が深まり、連携もできやすくなると思うので、新型コロナウイルスの収束には時間がかかると思いますが、集まって語り合う場があれば良いと思います。
- オンラインだったので自宅や職場でこのような有意義な学びを得ることができました。これまでは交通費等のコストを含めて吟味しなければいけなかったのが、このような形で参加させていただき助かりました。
- 新型コロナのみならず、感染症に対する正しい知識と適切な対策が施されて実施されるのであれば、全く問題ないと考えます。ただ、オンライン受講も残していただけると、受講の機会が広がるのではとも思います。
- とても楽しい5日間でした。ありがとうございました。新型コロナが落ち着いたら、リアルでの開催に参加したいと思います。

申込み・問い合わせ先

(ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。)

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160
公益財団法人地域社会振興財団 総務課
Tel **0285-44-3840**
Fax **0285-44-7839**
E-mail youseijuku@jichi.ac.jp
URL <https://www.zcssz.or.jp>

令和4年度 健康福祉プランナー 養成塾

募集案内

『保健・医療・福祉』を通して
地域住民が安全で安心して暮らせる
まちづくりを推進する人材を育成!

公益財団法人 地域社会振興財団

健康福祉プランナー養成塾 募集案内

日本の現代社会は少子・高齢社会問題が深刻化し、地域住民のニーズに応じて充実したサービスを提供する地方自治体の責任は、ますます大きくなっています。その流れの中で、住民が待ち望んでいるものは、充実した保健、医療、社会福祉・介護サービス体制です。このサービスを実際に構想・運営し、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する人材の育成こそ、あなたの地方自治体が飛躍できるかどうかのカギとなっています。

行政サイドにおいては、保健・医療・福祉についての深い理解と知識、長期計画を構想し、具体化する企画・立案力が必要であり、医師等の専門職サイドにおいては、住民の要望、地方自治体の財政状況等を理解し、行政サイドと協力し連携する調整能力が必要となっています。

当養成塾では、多彩な専門分野の先生方の講義・演習をとおして、こうした時代の要請に対応できる健康福祉プランナーとしての必要な能力獲得を目指した研修を行います。

期間	令和4年7月6日(水)～7月10日(日)5日間
会場	自治医科大学地域医療情報研修センター (栃木県下野市薬師寺3311-160:自治医科大学内)
対象者	地域医療・保健・福祉に携わり協働する医師・保健師等の専門職員 地方自治体職員等で、地域活性化と保健・医療・福祉事業の推進に関心のある方 (定員:当財団で直接受講いただく方15名 オンライン受講者30名程度)
開催方法	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、安全対策の観点から当財団で受講いただく人数を縮小し、オンラインで参加いただく2通りの方法のハイブリット方式で講義を行います。
募集要領	応募方法 当財団ホームページ(https://www.zcssz.or.jp)の《研修会等のご案内》⇒《健康福祉プランナー養成塾》⇒《参加申込み方法》から申込みフォームに入力のうえ、送信してください。 *登録いただきましたメールアドレスに受付完了メールを送信しますので、メール受信拒否設定をされている方は、@zcssz.or.jpからのメールを受信できるようにしておいてください。 応募締切 令和4年6月15日(水) 塾生の決定 応募締切後、塾生を決定し、ご本人ならびに所属団体あてに通知します。
経費	1 受講料、資料代、教材費等の研修に要する費用については、原則として当財団が負担します。 2 お住まいから研修会場までの往復の交通費と宿泊代、研修期間中の飲食代は、参加者の負担となります。
その他	新型コロナウイルス感染状況により、開催方法が変更となる可能性があります。その際には、参加者に改めてご連絡させていただきます。



令和4年度 健康福祉プランナー養成塾カリキュラム

7月6日(水)

13:30～14:00	受付	
14:00～15:00	開講式・オリエンテーション	
15:10～16:10	地域包括ケアシステムに向けた	帝京科学大学大学院総合リハビリテーション学研究所・村上須賀子
16:25～17:25	地域共生社会の実現	帝京科学大学医療科学部医療福祉学科客員教授 佐々木哲二郎 一般社団法人まちづくり四日市役場理事

7月7日(木)

9:30～10:30	新型コロナウイルスと自治体病院	城西大学経営学部教授 伊関 友伸
10:45～11:45	保健所長としての地域保健の実践経験	栃木県保健所参与 大橋 俊子
14:05～15:05	こどもの虐待問題	東京通信大学名誉教授 才村 純
15:20～16:20		
16:35～17:35	「認知症」と認知症の「人」の理解 ～地域生活支援から考える～	NPO 法人風の詩理事長 永島 徹

7月8日(金)

9:30～10:30	実態及び要望調査の方法と課題	桜美林大学大学院国際学術研究科教授 杉澤 秀博
10:45～11:45	ブレイクスルー思考	創美総合研究所所長 日比野 創
12:50～13:50		
14:05～15:05	成年後見制度の展望と課題	中央大学研究開発機構教授 新井 誠
15:20～16:20		
16:35～17:35	障害者の地域生活支援	とちぎ障がい者相談支援専門員協会会長 渡辺 純一

7月9日(土)

9:30～10:30	みなをつなぐコミュニケーション	多摩大学大学院教授・学長特別補佐 徳岡晃一郎 株式会社ライフシフト CEO
10:45～11:45		
12:50～13:50	包括医療	一関市国保藤沢病院事業管理者 佐藤 元美
14:05～15:05	Social inclusion に学ぶまちづくり	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長 炭谷 茂
15:20～16:20	地域医療の実践	つるかめ診療所所長 鶴岡 優子

7月10日(日)

9:30～10:30	地域包括ケアのその後	豊根村診療所所長 丹羽 治男
10:45～11:45	ICTを活用した地域診断 —コロナ禍での実践紹介—	自治医科大学医学部社会学准教授 青山 泰子
12:00～12:30	閉講式	

*先生方のご都合により、講義の内容が変更になる場合があります。